

令和元年度第2回神戸市の国民健康保険事業の運営に関する協議会

1. 日 時 令和2年2月12日（水）午後1時30分～午後2時30分

2. 場 所 市役所1号館14階 AV1会議室

3. 出席委員 神戸市の国民健康保険事業の運営に関する協議会委員

（敬称略 23名中19名出席）

公益代表 五島、伊藤（め）、吉田、足立

保険医・保険薬剤師代表 置塩、村岡、梅本、安井、西尾、
伊藤（清）

被保険者代表 中島、高、玉田、吉澤、井上、高田、
村木

被用者保険等保険者代表 多田、布澤

神戸市（事務局） 小原保健福祉局長、上田高齢福祉部長、
増田国保年金医療課長、
坂保健事業担当課長、
立石（長田区）保険年金医療課長

I 令和2年度 神戸市国民健康保険事業（案）について

●事務局 資料説明

（質問等）

○委員

10ページ④糖尿病と糖尿病性腎症の対象者は、どういう基準で抽出されるのか。

●事務局

医療レセプトのチェック、また特定健診の結果でヘモグロビンA1Cが8.0以上の方を対象にし、ご本人の同意のもと、主治医に連絡をとらせていただき、保健指導の対象とさせていただきます。

○委員

特定健診を受けておられる方のデータがあると思うが、レセプトであれば、値はわからないのではないか。

●事務局

あくまで治療中の方で、特定健診の結果が悪い方ということにさせていただいている。

○委員

どのぐらいのスパンで改善したかどうかは見られるのか。

●事務局

主治医と相談しながら決めていきたいと思っているが、まずは翌年度の特定健診の結果で評価をしていきたいと思っている。

○委員

8ページ④滞納整理事務の納付資力調査において、対象の方はどの程度いるのか、増えているのか、減っているのか。

●事務局

財産調査の件数は年々増加しており、平成29年度が5,152世帯、平成30年度は7,975世帯と約2,800世帯増加している。

○委員

やはり資力調査が必要な方が増加しているということで、資力調査をする体制や、さまざまな現状の困難なところもあると思うが、今後の課題や、どういった体制で臨まれるのかまでお聞きしたい。

●事務局

区役所においては経常業務とあわせて滞納処分の財産調査、滞納処分の執行をしている。他の政令市では年間1万件以上滞納処分しておられるところもあるが、本市の昨年の実績は484件と500件を切っている。体制的には、経常業務とあわせて同時にしている。他都市においては、専任チームができているところもあるが、今後、増やしていくにあたって課題もある。それについては、今後どのような形で進めていけばいいのか検討を進めたい。

○委員

本当に専任チームが必要なぐらい増えてきたら、体制も整えていただきたい。公平に徴収がされるよう、本当に困っている方には、きちんと窓口で対応、相談に乗っていただけるようにしていただきたい。

○委員

11ページ〈参考〉特定健診と特定保健指導の神戸市の実施状況だが、兵庫県内の市町村の平均を下回っており、恐らくこれは全国の市町村の平均でも下回っているのではないかと思います。

うが、こういった状況について、神戸市として、どこに課題があり、全体的に平均より下回っていると認識されているのか。

●事務局

40歳代、50歳代の比較的若年の方々の受診が非常に低いと思っている。健診等実施機関との相談にはなるが、まず予約をしていただくところのハードルを下げるため、今後、ウェブ予約の導入などができないかと思っている。

あとは、医療機関で治療中の方でも、できるだけ健診を勧めていただくよう、医師会の先生方にも協力をしていただきながら進めていきたいと思っている。

○委員

神戸市内でどの区が平均的に特定健診を受けるのが一番少ないのか。

●事務局

一番少ないのは兵庫区で、次は長田区である。

○委員

9ページの柔道整復とマッサージを全件点検を実施するということがあげられているが、これは今までもされているのか。

また、海外療養費の支給適正化で、今まで不正請求の事案があったのか。年度の支給件数や金額、増えているのかなど、資料として出していただけるのであればいろいろな質問の参考にもなると思う。

●事務局

一つ目の柔道整復の関係だが、29年度から全件点検をしており、30年度の実績は16万7,000件ほどである。

海外療養費については、29年度17件、30年度21件と増えている。今年度は、4月から12月までで11件である。

海外出産による出産の育児一時金の支給については、今年度8月から始めており、12月末現在で8件ほどである。

不正については、今のところ出ていない。

○委員

9ページ(1)レセプト点検の実施で、徐々に効果が下がってきているが、これは医療機関が適正に申請した結果ということなのか。

●事務局

適正に出していただいているのではないかと考えている。

II 令和2年度 神戸市国民健康保険料について

●事務局 資料説明

(質問等)

○委員

やはり国民健康保険というのは、とても大事で、もし保険に入っていなかったら大変だと思う。

今、日本国じゅうで、世界的にも、コロナウイルスが一番大事なことで、これからどうなるかわからない。もしこれが保健所なりに行かれた場合どうなるのか、そういう危惧もしている。

●事務局

神戸市の体制では、もし発熱など風邪のような、インフルエンザのような症状があり、かつ武漢市の方と接触があった濃厚接触者の方や武漢市のほうから戻ってこられた方について、心配な場合には、新型コロナウイルスの感染症に関する「帰国者・接触者相談センター」を24時間開設しており、そちらに電話を入れていただいたり、もし本当に受診をしたいということであれば、まずこちらに濃厚接触の可能性があるという連絡をしていただいた上で、医療機関をご案内するという体制をとっている。

○委員

まちの小児科や内科などに行かれる方もいるので、そのように終始徹底していただいたら、市民の方たちも安心すると思う。何かあったら、すぐに病院にでも行ったら、その病院で、自分が仮に感染していたら、それがまた広がるので、保健所とかにしたほうが我々は安心する。

それと、薬局などいろいろなところに行っても、マスクが全然ないことを一般市民の方はとても深刻に考えている。

●事務局

マスクや消毒薬も品切れ状態になっているが、手洗い、うがいをしっかりしていただくこと、咳がある方は必ず咳エチケットをしっかりといただくこと、手のひらで押さえてくしゃみをする、その手でドアノブをさわることで、そこからうつる場合もあるので、ドアノ

ブもしっかり消毒するという話もある。また、マスクが絶対に必要ではないといったことを保健所側としては、不用意に不安をあおらないよう啓発していく必要があると思う。

○委員

兵庫県が備蓄していたマスクを武漢市に送ったという報道があったが、市のほうには備蓄はないのか。また、兵庫県が市民のために備蓄していたものを送って、本当に正しい判断だったのか。

●事務局

神戸市の備蓄の中に大々的に配布するマスクはなかったのではないかと思う。

報道関係から得た情報であるが、県は三木総合防災公園の備蓄倉庫に120万セットほどあるうちの100万少しを依頼を受けて送ったと伺っている。もともと神戸・兵庫県が被災したときに中国のほうから支援をいただいたところがある中で、今回、県のほうに依頼があり、マスクを送ったという報道があったと伺っている。